

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		障害児通所支援事業のんの ルーム 港店		公表日		8年 3月 4日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100.00%		活動に合わせて十分なスペースは確保されている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100.00%		職員の配置数は確保できている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	60.00%	40.00%	トイレなど設備構造上無理な所はあるが、手すりなど利用者配慮しながら設備の充実を行っている。	すべてがバリアフリーではないが利用者配慮しながら設備に対して工夫をしていきたい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100.00%		活動に合わせた空間作りに努めている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100.00%		利用児の状況に合わせ、個別の部屋を用意できている。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100.00%		職員間で話し合いを行い、必要な状況提供を行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.00%		アンケートの内容を参考にし業務改善に努める。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100.00%		朝礼やそれ以外にもお互いに意見を伝え合い、業務改善に努めている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100.00%		外部評価を参考にし、業務改善に繋がるようにしている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100.00%		研修会や勉強会に参加し、資質の向上や他事業所の職員との交流を図る。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100.00%		AIセラピストを導入し、作成・公表を行っている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100.00%		AIセラピストを導入しまずは保護者からのアセスメントシートで利用児の特性・ニーズ・課題を分析し支援計画を作成している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100.00%		個別支援計画を全職員で共有・検討している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100.00%		全職員で共有し支援を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100.00%		確認し必要に応じての話し合いを行う。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100.00%		ガイドラインを基本とし、子どもの特性や家族のニーズに合わせて支援内容を設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100.00%		全職員で活動内容を話し合い、共有して活動プログラムを作成している。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100.00%		子供のニーズに合わせ活動内容が固定化しないように話し合いを行う。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100.00%		状態を確認しながらの対応を行う。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100.00%		朝礼等で打ち合わせを行い、連携しての支援が出来るようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100.00%		職員間で共有できるように努力している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100.00%		支援計画に基づき、ケース記録に記載し支援の検証・改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100.00%		定期的なモニタリングを行い、全職員で共有している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100.00%		児発管が参加しているが、必要に応じて他の職員の参加も行う。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100.00%		連携の体制は出来ている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	60.00%	40.00%	現在利用している利用児はいないが、必要に応じて情報交換を行う。	必要に応じた情報交換で相互理解を深めていきたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	80.00%	20.00%	現在は利用児がないが必要に応じて情報交換を行う。	必要に応じた情報交換を行う。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	100.00%		研修や勉強会に参加し連携を図っている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	40.00%	60.00%	直接の交流はないが、郊外療育等で障害のない他の子供たちと交流を図っている。	郊外療育等で公園等に行ったときなどは、他児との交流を図る。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100.00%		連絡帳の記載や送迎時に保護者に丁寧に報告をし、共通理解に努めている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100.00%		必要に応じて出来る限り保護者の悩みや課題にも寄り添うようにしている。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100.00%		見学时、契約時に丁寧に説明を行っている。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100.00%		AIセラピストでは保護者からのアセスメントシートを基に、こどもや家族の意向も確認する。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100.00%		個別支援計画書を示しながら、説明を行い同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100.00%		定期的ではないが、必要に応じて支援を行っている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100.00%		保護者や兄弟参加型の行事を開催し、交流する機会を設けている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100.00%		担当職員が速やかに対応を行い、職員全体で共有し、適切に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100.00%		年間行事予定を配布し、日々の活動はブログにて情報提供を行う。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100.00%		同意書を取り交わし職員一同十分に注意を行っている。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100.00%		理解が得られるような伝達方法を心掛けている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	40.00%	60.00%	コロナ以降連携をとることは難しくなっている。	町内会にも参入しており、以前のように七夕や町内会の祭りなどにも参加できるように図りたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100.00%		マニュアルを作成し契約時に配布、また年3回の避難訓練も実施も実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100.00%		定期的に年3回の避難訓練を実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100.00%		契約時に保護者から聞き取りを行い、新たな服薬等が始まった際には再度保護者から聞き取りを行う。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100.00%		契約時に保護者から聞き取りを行う。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100.00%		安全計画を作成し、安全管理に努めている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100.00%		子どもの安全計画も作成済みで、必要に応じて保護者に周知していく。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100.00%		記録に掲載すると共に、報告書を作成し職員間で再発防止に向けて検討を行う。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100.00%		定期的に虐待防止委員会を開催し、研修会や勉強会にも参加している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100.00%		身体拘束の同意書を作成し、保護者に説明後同意書をお願いする。	現在、該当児なし。